

青森市立小・中学校給食費の無償化について

1 概要

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充により創設される「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、令和4年10月1日から市立小・中学校の給食費を無償化するとともに、令和5年度以降も市立小・中学校の給食費の無償化を継続するもの

2 背景

- (1) 厚生労働省が発表した2021年人口動態によると、本県の出生数は過去最少の6,513人となっており、本市の住民基本台帳に基づく人口移動状況においても、令和3年の出生数が1,479人になるなど、地域の持続的発展にとって危機的な状況であることから、急速な少子高齢化の進展に伴う人口減少に歯止めをかけるためには、次世代を担う子育て世帯を地域で支える仕組みづくりが急務となっていること
- (2) 新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、物価高騰による学校給食費への影響等が懸念されているところであり、令和4年6月27日付けの文部科学省通知においても、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充により創設される「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を活用し、学校給食等の保護者負担の軽減に向けた取組を進めるものとされていること

3 対象児童生徒数（令和4年5月1日現在）

- | | |
|------|---------|
| ①小学校 | 12,068名 |
| ②中学校 | 6,484名 |
| ③合計 | 18,552名 |

4 今後の予定

令和4年第3回青森市議会定例会に補正予算案を提出予定